

特253

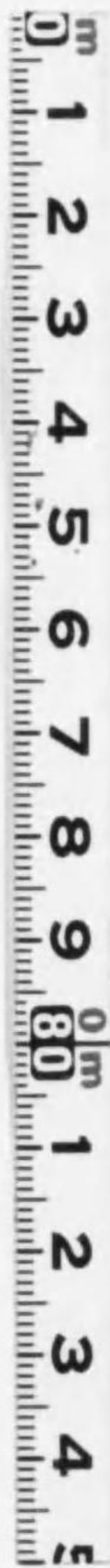
660

昭和十八年八月

材料節約對策ニ關スル意見

日本經濟聯盟會

納本



始



材料節約對策ニ關スル意見

目次

本意見ノ要旨	一
一、品質低下ノ防止對策	五
二、規格單純化ノ徹底	七
三、死藏物資及ビ殘材ノ活用	九
四、設計方針ノ變更	一一
五、代用品ノ使用促進	一四



本意見ノ要旨

時局ノ進展ト共ニ材料資材ノ需給ハ倍々緊迫ノ度ヲ加ヘツツアリ。現ニ軍官民一
致協力シテ資材配給ノ圓滑化、資材ノ活用、節約並ビニ代用品使用ノ徹底強化等ノ
材料對策ニ全力ヲ擧ゲツツアルモ、尙改善スベキ點多々アリト謂ハザルベカラズ。
仍リテ吾人ハ茲ニ材料節約對策ニ關スル問題ヲ採上ゲ研究調査ノ上其ノ改善ニ資セ
ントスルモノナリ。

本研究ニ於テハ現下ノ材料對策中最モ重要ナルモノヲ「材料配給ノ圓滑化」及ビ「資
材ノ徹底的利用及ビ節約」ノ二部門ニ大別シ得ルモノトシ、前者ニ就キテハ當會「生
産増強ニ關スル意見」中「原材料ノ不足並ニ配給不圓滑ト之ガ對策」ト題シ既ニ政府當
局ニ具申シタルヲ以テ本部會ニ於テハ之ヲ省略シ、主トシテ後者ニ付審議セルモノ
ニシテ其ノ要旨左ノ如シ。

一、品質低下ノ防止對策

價格政策及ビ補助金政策適切ナラザル爲メ材料ノ品質低下ヲ來シ、之ガ爲メ材
料ノ浪費甚シキモノアリ。其ノ防止對策トシテ製造技術上ノ問題ヲ考慮シタル價
格政策乃至補助金政策ヲ實施スルト共ニ、品質低下ノ爲メ最モ憂慮スベキ現狀ニ

アル鑄造品及び鍛造品ノ技術向上ノ方策ヲ速カニ確立シ、特ニ鑄造品ニ於テハ鑄物工場ノ専門化ヲ圖ルヲ急務ナリトス。

二、規格ノ單純化ノ徹底

材料規格及び寸法ヲ徹底的ニ單純化スルコトニ依リ材料ノ融通ヲ容易ニシ、同時ニ其ノ貯藏量ヲ低下セシメ以テ現下ノ資材難ヲ打開スルヲ要ス。之ガ爲ニハ先ヅ第一ニ直接生産ニ從事スル技術者ノ積極的協力、第二ニ標準規格以外ノモノノ法律ニ依ル製造禁止、第三ニ航空、陸海軍、民間等ニ於ケル各種現行規格ノ整理統一等ノ方策ヲ講ズルト共ニ検査規格ヲ緩和スルコトニ依リ使用可能ナル品ヲ不良化スル無駄ヲ排除スルヲ急務トシ、此ノ趣旨ヲ検査擔當員ニ徹底セシムルコト肝要ナリ。

三、死藏物資及び殘材ノ活用

資材ヲ餘ストコロナク活用シ盡スコトハ、資材難ノ現状ニ於テ各企業共重大ナル關心ヲ拂ヒツツアルモ、更ニ一步ヲ進メテ各工場内ニ利材工場ヲ設置シ、以テ死藏物資、殘材及び廢品ノ蒐集利用ヲ徹底セシムル必要アリ。尙用途ノ判明セル貯藏品ト雖モ近ク使用ノ豫定ナキモノハ統制會等ヲ仲介機關トシテ當該物資ヲ現

在急速ニ需要セル工場ニ融通セシムル要アリ。

四、設計方針ノ變更

現下ノ緊急事態ニ處シテ設計上考慮スベキハ、或程度ノ耐久力ヲ犠牲ニシ之ニ對スル附加寸法ヲ減ジ、以テ相當量ノ資材ノ節約ヲ圖ル點ニ在リ。之ガ爲ニハ戰時規格ヲ定メテ製品ノ規格ノ引下ヲ行フト共ニ設計技術者ヲシテ現下ノ實情ヲ深く認識セシメ、從來ノ設計技術ニ再檢討ヲ加ヘシムル必要アリ。

五、代用品ノ使用促進

代用品ノ使用ヲ促進シ其ノ發達普及ヲ圖ルハ刻下ノ急務ナルトコロ、從來ノ價格政策等代用品ニ對スル當局ノ方針ハ必ズシモ適切ナルモノト謂ヒ難シ。代用品研究及び製造ヲ積極的ニ推進セシメンガ爲ニハ、將來正常品ノ入手手段確保セラレタル場合ヲモ考慮シ、此等研究乃至製造ノ當事者ニ對シ、國家ハ十分損失補償ノ道ヲ講ズルコト肝要ナリ。

材料節約對策ニ關スル意見

—日本經濟聯盟會時局對策調查委員會—

産業能率增進委員會紀伊部會成案—

一、品質低下ノ防止對策

價格政策及ビ補助金政策適切ナラザル爲、優良品ノ生産ヲ不利トシ粗惡品ノ生産ヲ有利ナラシメ、又一般ニ特殊ノ加工ヲ回避スル傾向ヲ招來シ、之ガ爲原材料及ビ部品ニ於ケル品質低下ヲ免レザルハ周知ノ事實ナリ。而シテ原材料及ビ部品ニ於ケル品質ノ低下ハ營ニ、製品ノ能力、精度ニ至大ナル惡影響ヲ及ボスニ止マラズ、加工不良品ノ發生増大其ノ他ニヨリ、貴重ナル勞力、資材ノ浪費ヲ招キ、延イテハ配給ノ不圓滑ヲ來シ、生産原價ヲ昂騰セシムルヲ以テ、現下ノ緊迫セル時局ニ於ケル資材對策上最モ考慮ヲ要スベキ問題ノ一ニ屬ス。

殊ニ品質低下ノ爲メ最モ憂慮スベキ状態ニアルハ鑄造品及ビ鍛造品ナリ。從來我が國鑄物工場ハ科學ニ立脚セル技術上ノ指導ヲ缺キ、作業方法モ徒ラニ勘ニノ

ミ依存スル原始的慣習ヲ遵守シ來リタルトコロ、近來特ニ原料タル銑鐵、「コークス」、屑鐵等ノ品質低下ニ依リ、更ニ工員ノ不足及ビ不熟練者ノ増加ノ爲、製品ノ質著シク低下シ、形狀ニ於テモ満足スベキモノ尠シ。而シテ、商工省ノ統制方針モ横斷的ナル鑄物工場間ノミノ整理統合ニ限ラレ、發注工場ニ對スル協力的方面ヲ開却セルハ遺憾ナリ。

鍛造品ニ於テモ材料ノ品質低下ニ加ヘテ、技術、設備等ガ依然トシテ舊套ノ域ヲ脱セザル爲、其ノ製品ニ駄肉甚シク多ク、之ガ仕上ニハ餘分ニ工作機械ノ使用ヲ要スルノミナラズ、徒ラニ殘材ヲ發生シ居ル現狀ナルヲ以テ、速カニ機械鍛造機ノ如キ設備ヲ完全ニシ鍛造技術ヲ進歩セシムルコトニ依リ、原料及ビ勞力ノ節約ヲ圖ルコト肝要ナリ。其ノ他鍛造設備ノ能力過少ナル爲ニ無理ナル加工ヲ施シ、其ノ爲ニ不良品ノ發生スルコト多シ。例ヘバ特殊鋼ノ鍛造品ト稱スルモノニ熔接、盛金等ヲナシ、又ハ鍛工用ノ「ハンマー」小ナルニモ拘ラズ作業ヲ強行スル爲、表面ガ伸ビ切り横割レヲ生ズルガ如キ事例尠カラズ。

然ルニ一面ニ於テハ品質ヲ低下セシムルトモ現下用途ニ對シテ支障ナク却ツテ資材ヲ節約シ得ルモノモ亦尠カラズ。故ニ政府ハ材料節約ノ見地ヨリ品質ヲ引上グベキモノト引下グベキモノトヲ判別シテ品質規格ヲ適合セシムルコトヲ急速ニ

實現スル要アリ。

對策

(イ) 價格政策乃至補助金政策ヲ製造技術上ノ問題ニ關聯セシメテ品質低下防止ヲ圖ルコト

(ロ) 鑄造品鍛造品ニ對シテハ詳細ナル製造仕様書ヲ作成シ、之ガ實行ヲ嚴守セシムルコト、特ニ鑄造品ニアリテハ押湯量ノ標準ヲ決定シ、之ガ實行ヲ確保スルコト

(ハ) 政府ハ鑄物工場ヲ機械工業ノ一貫的作業トシテ認ムル方針ヲ採リ、各々其ノ長所ニ從ヒ之ヲ專ラ工場化セシムルト共ニ其ノ協力工場化ヲ圖リ、必要ニ應ジ親工場ニ依ル之ガ買収ヲ促進スルコト

(三) 鑄物工場ノ技術向上ヲ企圖スベキ方策ヲ樹立スルコト

(ホ) 鑄物工場ノ技術指導ニハ、發注者側ノ技術者ヲモ協力セシムルコト

二、規格ノ單純化ノ徹底

材料規格ノ多種多様ナル爲、之ヲ生産スル工場ニ於ケル生産能率ノ發揚ガ阻害セララルコト著シク、且此等ヲ使用スル工場ニ於テ特殊規格ノ原材料、部品ヲ使用スルハ、原材料、部品ノ彼此融通ヲ妨ゲ、死蔵品ノ發生ヲ促シ、一部材料調達

遅延ノ爲、全部ノ製作進行ヲ中止セシムルニ至ル事例尠カラズ。

八

對策

(イ) 材料及ビ部品ノ規格ハ徹底的ニ之ヲ單純化スルコト
本件ニ關シテハ、既ニ技術院規格統一調査會ニ於テモ其ノ必要ヲ痛感シ、事變勃發以來數回ニ涉リ改訂セシ所ナルモ、目下ノ資材難ヲ想起スル時ハ更ニ其ノ徹底ヲ圖ル必要アリ。

勿論個々ノ立場ヨリスレバ、寸法及ビ材質ノ單純化ハ時ニヨリ却ツテ資材ノ不經濟ヲ齎ス場合多々アルヲ以テ、直接生産ニ從事スル技術者ハ單純化ニ對シテ常ニ反對意見ヲ有スルハ已ムヲ得ザル次第ナルベシ。然レドモ現下ノ資材難ヲ打開スルニハ個々ノ面ニ於テハ或程度ノ犠牲ヲ拂フトモ、資材ノ生産配給ニ對スル障礙ヲ可及的排除スルヲ有利トスルヲ以テ、規格ノ單純化ニ對シテハ、技術者ヲシテ更ニ大局的見地ヨリ熱意ヲ以テ積極的ニ協力セシムルコト肝要ナリ。

(ロ) 規格統一ニ際シテハ、標準規格以外ノモノノ製造禁止ヲ法律ヲ以テ強制シ、且各統制會ヲ通ジ傘下企業ニ對シ、之ガ急速ナル實施ヲ強行セシムルコト

(ハ) 航空、陸軍、海軍、民間等ノ各種現行規格ニシテ、機密保持ノ極メテ必要ナルモノ以外ハ之ガ單純化ヲ圖ルコト、右ニ際シ抗張力其ノ他ノ規格上ノ僅少差

違ノ統一ニ就キテハ軍、官、民ニ於テ積極的ニ協力スルコト

(ニ) 用途ニ應ジ検査規格ヲ緩和スルコトニ依リ、使用可能ナル品ヲ不良化スル無駄ヲ排除スルヲ急務トシ、此ノ趣旨ヲ検査擔當員ニ徹底セシムルコト

三、死藏物資及ビ殘材ノ活用

死藏物資、殘材及ビ廢品乃至貯藏品ノ活用ニ就キテハ、資材難ノ現狀ニ於テハ各企業共重大ナル關心ヲ拂ヒ、既ニ統制會乃至工業會ノ斡旋ニ依リ各社間ノ資材交換ガ行ハレツツアルモ、先ヅ第一ニ工場當路者ヲシテ一度工場へ搬入セラレタル資材ハ之ヲ剩スルトコトコトナク活用シ、成ル可ク屑ノ發生ヲ防止スベキ觀念ヲ徹底セシムル要アリ。時局下斯カル趣旨ハ全従業員ニ徹底シ、各自ハ常ニ深甚ナル關心ヲ以テ資材ノ利用ニ努力シツツアルベシト信ズルモ、斯カル問題ハ個々ノ自覺ノミニ任セテハ十分ナル效果ヲ期待シ難キヲ以テ、死藏物資、殘材及ビ廢品ノ蒐集利用ニ對スル責任アル機關ヲ設ケ、組織的ニ活躍セシムル必要アリ。而シテ斯カル機關ノ整備セル工場ニ對シテハ、屑鐵回收割當及ビ屑鐵使用制限ニ關スル法規上ノ制限ヲ緩和スル要アルベシ。

又屑鐵統制會社ノ運用ガ實情ニ即セザル爲メ却ツテ屑ノ死藏増加シ、無用ノ遠距離運搬ヲ餘儀ナクサレ其ノ有效適切ナル利用ヲ阻害シツツアル現狀ナルヲ以テ、

九

可及的速カニ其ノ對策ヲ樹立スベキモノトス。

對 策

(イ) 利材工場ノ設置

(1) 各工場ニ於テ、利用時期未定ナル機械、利用不能ナル部品、原材料等ノ所謂死藏品相當額ニ上ルベシト豫想セラルルヲ以テ、利材工場等ヲシテ之ガ活用ヲ圖ラシムルト共ニ、全ク利用不能ナルモノハ交換ノ爲メ供出セシムルコト

(2) 作業過程ニ於テ發生スル殘材ヲ當該業者ヲシテ採集シ利用セシムルコトハ、作業能率上遺憾ノ點多ク且習慣上實行困難ナルヲ以テ、海軍工廠ニ於ケルガ如キ利材工場ヲ設置シ、之ヲシテ専門的ニ殘材處理ヲ擔任セシメ、其ノ創意ト努力トニ依リ如何ナルモノタリト雖モ、其ノ用途ヲ見出サシメ、屑ヲ可及的ニ減少セシムルコト

此ノ際、利材工場ノ會計ハ獨立會計トシ、一定ノ價格ニテ不用機械、殘材等ヲ購入セシメ、該工場ニテ之ヲ加工、組立、其ノ他適宜ナル處理ヲナシ、相當價格ニテ使用先ニ拂出サシムル形式ヲトル時ハ、殘材處理上效果著大ナルベシ。

(ロ) 用途判明セル貯藏品ト雖モ近ク使用ノ豫定ナキモノハ、統制會等ヲ仲介機關トシテ該資材ヲ現在急速ニ需要セル工場ニ融通セシメ、供出シタル工場ニ對シテハ他日代替品ヲ與フル方針ヲ執ルコト

(ハ) 小工場ニシテ殘材利用ノ設備ヲ缺クモノニ就キテハ、地方別工業組合等ニ於テ之ヲ蒐集シ處置スル施策ヲ講ゼシムルコト

(三) 屑鐵統制會社ノ運営ヲ實際ニ即セシメ、屑ノ發生工場ト適格使用工場トヲ直接連繫セシメ、屑ノ適正利用ト輸送上ノ困難ノ除去ヲ圖ルベキコト

(ホ) 屑鐵ノ供出撰別ヲ容易ナラシメル爲メ、其ノ品種別價格差ヲ細分スルコト

(ヘ) 屑ヲ其ノ性質ニ依リ一定ノ用途ニ適合セシムルガ如キ方法ハ、既ニ講ゼラレツツアル所ナルモ遺憾乍ラ不徹底ナルコト

右ニ對スル手段トシテハ、屑鐵統制會社ヲシテ

(1) 屑鐵ノ撰別ハ火花試驗等ニ依リ正確ニ行ハシムルコト

(2) 屑鐵ハ品質ニ依リ眞ニ有效適切ナル用途ニ仕向クルコト

四、設計方針ノ變更

自由生産時代ニ於テハ機械ノ設計ニ際シテモ商品價值ニ重點ヲ置キ、徒ラニ高度ナル安全率ヲ求メ、且體裁、趣味等ニ資材ヲ浪費スルガ如キコト相當行ハレ居

リ、現在ニ於テモ其ノ傾向殘存シ、設計ニ際シ各部品ノ大キサハ力學的要求ヲ充足シタル上ニ、更ニ安全率ノ形式ニ於テ、又ハ磨耗腐蝕其ノ他ニ對スル餘裕トシテ、若干寸法ヲ附加シテ決定スルヲ常トス。從ツテ、耐久力ノ點ニ於テモ相當ノ永年ヲ豫想シ、例ヘバ車輛ニ於テハ二十五年、船舶ニ於テハ二十年乃至二十五年程度トセリ。併シ乍ラ現下ノ緊迫セル事態ノ下ニ於テハ特ニ戰時規格ヲ設クルコトニ依リ、耐久力ヲ或程度犠牲ニシ、之ニ對スル附加寸法ヲ減ジ、以テ相當量ノ資材ヲ節約スルガ如キハ、設計上考慮スベキ重大問題ノ一ニ屬ス。

殊ニ設計ノ英米の性格トシテ、英米固有ノ豐富ナル資源ニ依頼シテ資材ヲ贅澤ニ使用シ製作ニ要スル勞力ヲ惜ミタルモノガ其ノ儘殘存セルモノ尠カラズ。獨逸ノ設計ハ之ト對蹠の性格ヲ保持シ來リタルトコロ、我が國ノ戰時的規格トシテハ速カニ右ノ英米の性格ヲ脱シ、獨逸の性格ニ倣ヒテ現下ノ實情ニ即シツツ日本獨自ノ性格ヲ確立スル要アリ。

對策

(イ) 從來ノ設計方法ニ再檢討ヲ加ヘ、現下ノ情勢ニ照シテ機械ノ耐久力ニ甚シキ影響ナキ限り資材ヲ節約スル方法ヲ講ズルコト
(ロ) 戰時規格ヲ定メ、規格引下ゲト之ニ伴フ法規上ノ障礙除去トニ依リ資材ノ節

約ヲ企圖スルコト、但シ戰時規格ハ非常手段ナル爲メ、材料關係ガ舊ニ復セシ時ニハ十分ナル調査ノ上ニ非ザレバ使用ヲ繼續セザル様措置スルコト

特ニ建築ニ關シテハ大正八年制定ノ市街地建築物法ニ基ク市街地建築物法施行令、同施行細則等ニ拘束セラレ、戰時下ノ今日ニ於テモ尙多量ノ重要資材ヲ消費スルノ己ムナキノミナラズ、此等資材ノ調達ニ時間ヲ浪費スルコト多キ爲メ工場ノ完成徒ラニ遲延シテ、生産力ノ增強ヲ阻害セラルルモノ尠カラズ。故ニ現行建築關係法規ヲ時局ニ鑑ミ別紙〔建築關係取締法規ノ改正ニ關スル意見〕参照〕ニ基キ急速ニ改正シ、資材ヲ節約スルト共ニ工場建築ノ短期完成ニ資スルコト肝要ナリ。

又一般工場建築ヲ通覽スルニ一方ニ於テハ最小限ノ資材ヲ利用シ辛ウジテ完成セシ觀アルモノアルニ反シ、他方資材入手ガ比較的容易ナルニ任セ現下ノ情勢ヨリ見レバ極メテ贅澤ナリト斷ゼラルルモノモ亦尠カラズ。天井起重機ノ經間ノ統一ニ伴ヒ工場建築ノ間口等ガ略々規正セラレアル今日ニ於テハ、生産品ノ種別ニ依リ數種ノ工場ヲ建築規格制定スルコトモ難事ナラザルベシト信ズ。斯カル方法ニ依リ最小限ノ資材ヲ以テ戰時下ニ相應シキ工場建築ヲ一般業者ニ實行セシムルヲ要ス。

- (バ) 右規格引下ゲハ安全係數ノ低下ヲ免レザルニ依リ鐵鋼ノ腐蝕ニ重大ナル關係アル防蝕塗料ノ撰定ニハ十分留意スルコト
- (ニ) 技術者ニ對シ資材關係ノ實情ヲ認識セシムルト共ニ發注者ニ對シ戰時規格ノ必要性ヲ理解セシメ之ガ普及徹底ヲ圖ルコト
- (ホ) 近來材料入手困難ヲ加ヘツツアルニ鑑ミ、設計者ハ入手可能ナル他ノ規格品ヲ以テ代替シ得ルガ如ク設計スベキ要アルコト

五、代用品ノ使用促進

代用品ノ使用ハ現下必須ノ情勢ニアル故ニ、飽迄之ヲ助成シ其ノ品質ノ改善ヲ圖ル要アルトコロ、從來ノ代用品ニ對スル價格政策等之ニ對スル政策ハ寧ロ其ノ發達ヲ阻害セル憾ナシトセズ。

仍リテ代用品使用促進ニ關シテハ左ノ諸點ヲ考慮スル要アリ。

- (イ) 政府ノ認ムル優良代用品ニ對シテハ公定價格ノ基準ハ正常品ノ最高價格ヲ目標トシテ公定價格ヲ設定シ又ハ補助金ヲ交附スルコト
- (ロ) 將來正常品ノ入手手段ガ確保セラレタル場合、當該代用品製造事業及ビ當該代用品研究機關ニ對シ、國家ハ其ノ功績ヲ表彰シ、其ノ損失補償ノ道ヲ講ズルコト、而シテ國家ハ可能ナル限り前途ノ見透シヲ明カニシ、代用品研究乃至製

造ニ徒勞ナカラシムルガ如ク指導スルコト

- (ハ) 稀少資材ノ使用ニ就キテハ、政府ハ「斯ク／＼ノ目的ニ對シテハ斯ク／＼ノ資材ハ使用スベカラズ」ト謂フ形式ヲ以テ消極的ニ其ノ使用ヲ規正シツツアルモ、銅ノ如キ現在又ハ將來ニ於テモ確保見透シ困難ナル資材ノ使用ニ就キテハ、其ノ用途ヲ具體的ニ指定スルコトニ依リ之ヲ積極的ニ制限スル要アリ。

以上

1140
45

昭和十八年八月廿五日印刷
昭和十八年八月廿八日發行

發行者 東京市麹町區丸ノ内日本經濟聯盟會
發行所 東京市麹町區丸ノ内一丁目二番地
日本經濟聯盟會
電話丸ノ内 三三〇七九
三六三三・三六三三
四六四九・六四二六
橫濱市中區山元町一ノ四一
印刷者 吉村佐吉
印刷所 東京市芝區田村町六ノ一三
大西印刷所
東京市神田區淡路町二丁目九番地
(配給元) 日本出版配給株式會社

終

